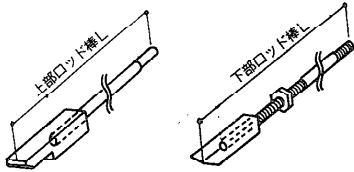
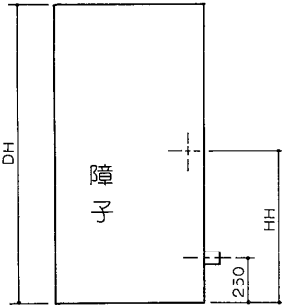


グレモン・ドアボトム連動装置取付説明書

寸法設定

① ロッド棒 L 寸法の設定

- DL-55 グレモン締り (カセット付) 使用の場合 (上部ロッド棒) 標準の C-55 と変更ありません。
- (下部ロッド棒) HH-193

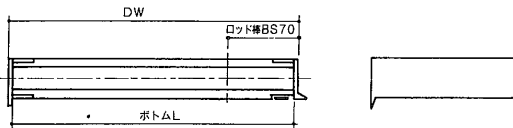
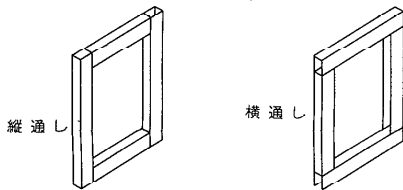


② 連動ボトム L 寸法 (内蔵式) の設定

スチール扉補強材

- 縦通しの場合 DW-9mm (面材板厚1.6+補強材板厚2.3) ×2+クリアランス1≒9
- 横通しの場合 DW-5mm (面材板厚1.6) ×2+クリアランス1≒5

※特に指示ない場合はDW-9mmで設定して居ります。



連動ボトムの勝手の見方

吊元に関係なく調整ネジから見てボトムの羽根部が

右にある場合、(Left の「L」に見えれば)左勝手です。

の場合、右勝手となります。

取付に関する注意事項

① 補強材に変形がある場合

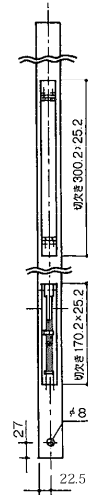
- ロッドキャップが正しく取付かず連動ボトムが納まらない場合があります。
- 補強材に変形が無い様にして下さい。



② シール圧調整用の孔加工

を下図の様にを行う。

(例) Dt 45 のセンター一納りの場合



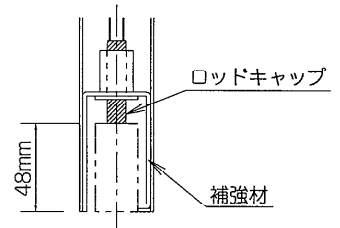
扉仕上げ時の注意事項

ロッドキャップ、ロッド棒ガイドは樹脂製ですので、扉に取付けた状態での焼付塗装等は変形の原因となりますので、ご注意ください。

調整

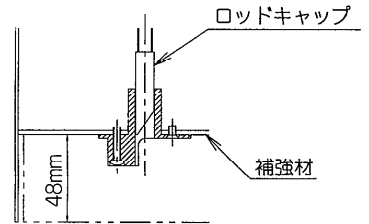
① 補強材の内寸高さが 48mm 以上の場合

※ロッドキャップの先端を扉下面から 48mm の位置に調整する。

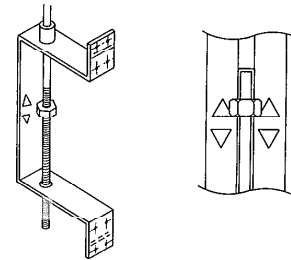


② 補強材の内寸高さが 48mm の場合

※ロッドキャップの先端を補強材の内面と同面に調整にする。

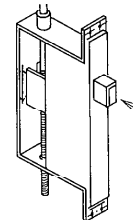


③ ナットは△刻印の内、グレモン本体側を示す△刻印の間に納まる様調整して下さい。(グレモン本体は解錠状態)



④ グレモン締りが施錠状態でミッドロックのデッドボルトが引っ込まなくなるまで、ナットを調整する。

※取付詳細は別紙 ミッドロック取付説明書を参照して下さい。



⑤ シール圧調整の目安は、床とエアタイトゴムの間に紙を敷いて引き抜いて抵抗を感じる程度が最適。

